## ミャンマーとの円借款取極

## ◎円借款の供与に関する日本国政府とミャンマー連邦共和国政府との間の交換公文

## (略称)ミャンマーとの円借款取極

平成二十五年 一月 十五日 効力発生   平成二十五年 一月 十五日 効力発生   平成二十五年 一月 十五日 効力発生   平成二十五年 二月 一日 告示   (外務省告示第三五号)	ミヤ	7	6	5	4	3	2	1	日本畑	н				
平成二十五年   一月   十五日   ネーピードーで   平成二十五年   一月   十五日   効力発生   平成二十五年   二月   一日   告示   (外務省告示第三   年   1月   十五日   対力発生   平成二十五年   二月   一日   告示   (外務省告示第三   年   1月   1月   1月   1月   1月   1月   1月	シマー	協議	借款	借款	ミヤ	借款	借款	円借	側書簡	目				
平成二十五年   一月   十五日   ネーピードーで   平成二十五年   一月   十五日   効力発生   平成二十五年   二月   一日   告示   (外務省告示第三   年   1月   十五日   対力発生   平成二十五年   二月   一日   告示   (外務省告示第三   年   1月   1月   1月   1月   1月   1月   1月	側書館	:	の使冷	の適正	ンマー	の対象	契約の	款の世	:	次				
平成二十五年 一月 十五日 ネーピードーで 平成二十五年 二月 十五日 効力発生 平成二十五年 二月 一日 告示 (外務省告示第三年) (本年) (本年) (本年) (本年) (本年) (本年) (本年) (本	]BJ	:	及び	使用	-政府	<b>水</b> : :	が締結	与:	:					
平成二十五年 一月 十五日 ネーピードーで 平成二十五年 二月 十五日 効力発生 平成二十五年 二月 一日 告示 (外務省告示第三年) (本年) (本年) (本年) (本年) (本年) (本年) (本年) (本	:	:	計画の	:	による	:	及び借	:	:					
平成二十五年 一月 十五日 ネーピードーで 平成二十五年 二月 十五日 効力発生 平成二十五年 二月 一日 告示 (外務省告示第三年) (本年) (本年) (本年) (本年) (本年) (本年) (本年) (本	:	:	実施		財政		款のな	•	:					
平成二十五年 一月 十五日 ネーピードーで 平成二十五年 二月 十五日 効力発生 平成二十五年 二月 一日 告示 (外務省告示第三年) (本年) (本年) (本年) (本年) (本年) (本年) (本年) (本	:	:	の進捗		課徴金		条件:		•					
平成二十五年 一月 十五日 ネーピードーで 平成二十五年 二月 十五日 効力発生 平成二十五年 二月 一日 告示 (外務省告示第三年) (本年) (本年) (本年) (本年) (本年) (本年) (本年) (本		:	状況に		及び知				:					
平成二十五年 一月 十五日 ネーピードーで 平成二十五年 二月 十五日 効力発生 平成二十五年 二月 一日 告示 (外務省告示第三年) (本年) (本年) (本年) (本年) (本年) (本年) (本年) (本			いつい		性税の		:							
平成二十五年 一月 十五日	:		ての情	:	免除・		:							
一月 十五日 ネーピードーで         一月 十五日 効力発生         二月 一日 告示         (外務省告示第三	:	:	報及び	:		:		•	:					
一月 十五日 ネーピードーで         一月 十五日 効力発生         二月 一日 告示         (外務省告示第三	:	:	ひ資料	:		:		:	•			平成	平成	平成
一月 十五日 ネーピードーで         一月 十五日 効力発生         二月 一日 告示         (外務省告示第三	:	:	等の担	:		:	:	:	:			十五	十五	一十 五
+五日 ネーピードーで +五日 効力発生 一日 告示 (外務省告示第二 (外務省告示第二 (外務省告示第二 (外務省告示第二 (外務省告示第二 (外務省告示第二 (列 (列 (列 (列 (列 (列 (列 (列 (列 (列	:	:	焼供:	:		:		:	:				年	年
ネーピードーで 効力発生 告示 (外務省告示第二 (外務省告示第二 四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四	:	:	:		:	:		•	:			月		
ネーピードーで 効力発生 告示 (外務省告示第二 (外務省告示第二 四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四	•	:			:	•			:			一 日	十五日	十五日
<ul><li>※ は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 なん と は、 なん と は、 は、</li></ul>					:		:		:		外			
							:				務省出	不	刀発生	ピー
	; ;		Ш	: Ш	: Ш	Ш	: : m	: Ш	: 		<b>宣示第</b>			ドーで
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	四四四	四三	四二	四二	四二	四二	四一	四一	四一	~	三五号			C

(訳文)

(円借款の供与に関する日本国政府とミャンマー連邦共和国政府との間の交換公文)

到達した次の了解を確認する光栄を有します。 に供与される日本国の借款に関して日本国政府の代表者とミャンマー連邦共和国政府の代表者との間で最近 書簡をもって啓上いたします。本使は、ミャンマー連邦共和国の経済の安定及び開発努力を促進するため

ことを目的として、二千十二年四月二十一日付けの「日本・ミャンマー首脳会談に関する共同プレスス た社会経済開発支援計画(以下「計画」という。)の下でのミャンマー連邦共和国政府の努力を支援する 係法令に従って、ミャンマー連邦共和国政府に供与されることになる。 による借款(以下「借款」という。)が、日本国政府とミャンマー連邦共和国政府により共同で準備され 千九百八十八億八千百十七万三千三百三十一円(一九八、八八一、一七三、三三一円)の額までの円貨 独立行政法人国際協力機構(以下「JICA」という。)により、日本国の関

2 (1) 前記の借款契約によって規律される 借款は、ミャンマー連邦共和国政府とJICAとの間で締結される借款契約に基づいて使用に供され 借款の条件及び使用に関する手続は、 この了解の範囲内で、なかんずく次の原則を含むことになる

- (a) 償還期間は、 十年の据置期間の後三十年とする。
- (b) 利子率は、年〇・〇一パーセントとする

(Japanese Note)

Nay Pyi Taw, January 15,

Excellency,

to be extended with a view to promoting the economic stabilization and development efforts of the Republic of the Union of Myanmar: Republic of the Union of Myanmar concerning a Japanese loan understanding recently reached between the representatives of the Government of Japan and of the Government of the I have the honour to confirm the following

- Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") for the purpose of supporting the Government of the Republic of the Union of Myanmar for its efforts under the Social and Economic Development Support Program jointly prepared by the Government of Japan and the Government of the Republic of the Union of Myanmar (hereinafter referred to as "the Program") in light of the Joint Press Statement on Japan-Myanmar Summit Meeting of April 21, 2012. 1. A loan in Japanese yen up to the amount of one hundred and ninety-eight billion eight hundred and eighty-one million one hundred and seventy-three thousand three hundred and thirty-one yen (¥198,881,173,331) (hereinafter referred to as "the Loan") will be extended, in accordance with the relevant laws and regulations of Japan, to the Government of the Republic of the Union of Myanmar by the
- Republic of the Union of Myanmar and JICA. The terms and agreement to be concluded between the Government of the within the scope of the present understanding, contain, inter alia, the following principles: utilization will be governed by the said loan agreement, conditions of the Loan as well as the procedures for its The Loan will be made available by a loan which will
- (a) The repayment period will be thirty (30) after the grace period of ten (10) years;
- one per cent (0.01%) per annum; and <u>6</u> The rate of interest will be nought point nought

- (c) 支出期間は、 前記の借款契約の発効の日の後二年とする。
- (2) (1)に規定する借款契約は、 両政府とJICAとの間の必要な調整の後に締結される。
- (3) ① に規定する支出期間は、 両政府の関係当局の同意を得て延長することができる
- 3 促進に貢献する 支出を対象として使用に供され、計画の実施を通じてミャンマー連邦共和国の経済の安定及び開発努力の 借款は、ミャンマー連邦共和国の権限のある当局が日本の債権者への債務の返済のために将来行う予算
- 4 関連してミャンマー連邦共和国において課される全ての財政課徴金及び租税を免除する。 ミャンマー連邦共和国政府は、 JICAについて、借歉及びそれから生ずる利子に対して又はそれらに
- 5 確保するために必要な措置をとる ミャンマー連邦共和国政府は、借款が適正にかつ専ら3に規定する予算支出のために使用されることを
- (1) ミャンマー連邦共和国政府は、要請に応じ、日本国政府及びJICAに対し、次のものを提供する
- (a) 借款の使途及び計画の実施の進捗状況についての情報及び資料

等及て況の画途借 のびのに進の及款 提資情つ捗実びの 供料報い状施計使

- (b) 借款及び計画に関連するその他の情報
- (2) ために適当な措置をとる。JICAは、その検討及びモニターに参加するよう招かれる。 随時検討及びモニターし、 両政府は、①に規定する情報及び資料に基づいて、共同して借款の使途及び計画の実施の進捗状況を 必要に応じ、 借款の適正な使用及び計画の効果的かつ円滑な実施を確保する

- (c) The disbursement period will be two (2) years after the date of coming into force of the said loan
- (2) The loan agreement mentioned in sub-paragr above will be concluded after necessary coordination between the two Governments and JICA sub-paragraph (1)

agreement.

- (3) The disbursement period mentioned in sub-paragraph (1)(c) above may be extended with the consent the authorities concerned of the two Governments. 0
- expenditures to be made by the competent authorities of the Republic of the Union of Myanmar through the implementation the economic stabilization and development efforts of the debts to Japanese creditors, which contributes to promoting Republic of the Union of Myanmar for the repayment of the the Program. The Loan will be made available to cover budget
- 4. The Government of the Republic of the Union of Myanmar shall exempt JICA from all fiscal levies and taxes imposed in the Republic of the Union of Myanmar on and/or in connection with the Loan as well as interest accruing therefrom.
- 5. The Government of the Republic of the Union of Myanmar shall take necessary measures to ensure that the Loan be used properly and exclusively for the budget expenditures mentioned in paragraph 3.
- 6. (1) The Government of the Republic of the Union of Myanmar shall, upon request, furnish the Government of Japan and JICA with:
- Program; and (a) Information and data concerning the use of the Loan and the progress of the implementation of the  $\,$
- Program. g any other information related to the Loan and the
- and data mentioned in sub-paragraph (1) above, the use of the Loan and the progress of the implementation of the Program, and take, if necessary, appropriate measures to secure the proper use of the Loan as well as the effective and smooth implementation of the Program. JICA will be invited to participate in such review or monitoring. monitor from time to time, on the basis of the information invited to participate in

7

両政府は、この了解から又はそれに関連して生ずることのあるいかなる事項についても相互に協議す

両政府間の合意を構成し、その合意が閣下の返簡の日付の日に効力を生ずるものとすることを提案する光栄 本使は、更に、この書簡及び前記の了解をミャンマー連邦共和国政府に代わって確認される閣下の返簡が

本使は、以上を申し進めるに際し、ここに閣下に向かって敬意を表します。 二千十三年一月十五日にネーピードーで

を有します。

ミャンマー連邦共和国駐在

日本国特命全権大使 沼田幹男

ミャンマー連邦共和国 財務・歳入副大臣 リン・アウン閣下

7. The two Governments shall consult with each other with respect to any matter that may arise from or in connection with the present understanding.

I have further the honour to propose that this Note and Your Excellency's Note in reply confirming on behalf of the Government of the Republic of the Union of Myanmar the foregoing understanding shall constitute an agreement between the two Governments, which shall enter into force on the date of Your Excellency's Note in reply.

 $\dot{}$  I avail myself of this opportunity to extend to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

(Signed) Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of Japan to the Republic of the Union of Myanmar Mikio Numata

Dr. Lin Aung Deputy Minister for Finance and Revenue The Republic of the Union of Myanmar

His Excellency

(ミャンマー側書簡)

(訳文)

ます。

(日本側書簡)

本官は、以上を申し進めるに際し、ここに閣下に向かって敬意を表します。る光栄を有します。の返簡が両政府間の合意を構成し、その合意がこの返簡の日付の日に効力を生ずるものとすることに同意する光栄を有します。

二千十三年一月十五日にネーピードーで

ミャンマー連邦共和国

財務・歳入副大臣 リン・アウン

ミャンマー連邦共和国駐在

日本国特命全権大使 沼田幹男閣下

四 四 四

(Myanmar Note)

Nay Pyi Taw, January 15, 2013

Excellency,

I have the honour to acknowledge the receipt of Your Excellency's Note of today's date, which reads as follows:

"(Japanese Note)"

I have further the honour to confirm on behalf of the Government of the Republic of the Union of Myanmar the foregoing understanding and to agree that Your Excellency's Note and this Note in reply shall constitute an agreement between the two Governments, which shall enter into force on the date of this Note in reply.

I avail myself of this opportunity to extend to Your Excellency the assurance of  $my\ highest\ consideration.$ 

(Signed) Lin Aung
Deputy Minister for Finance
and Revenue
and Revenue
The Republic of the Union
of Myanmar

Mr. Mixio Numata
Mrbassador Extraordinary and
Plenipotentiary of Japan
to the Republic of the Union of Myanmar

三千三百三十一円までの円借款を供与することについての両政府の了解を確認するものである。この取極は、独立行政法人国際協力機構がミャンマー政府に対し、千九百八十八億八千百十七万(参考)